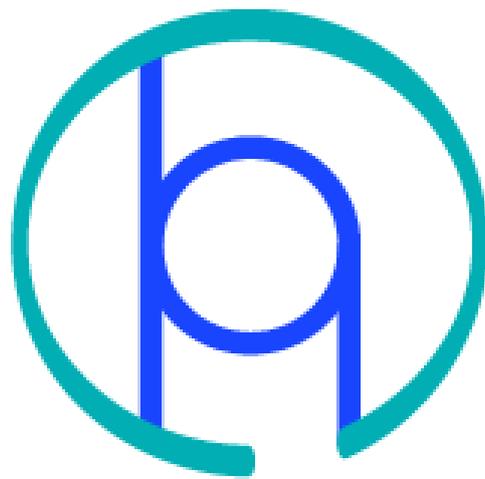


平成26(2014)年度
兵庫県介護員養成研修(通学)
受講者募集要項



HYOGO University

兵庫大学 エクステンション・カレッジ

◆開設する講習

兵庫県介護員養成研修（通学）
介護職員初任者研修課程

◆講習日程

平成 27 年 2 月 4 日（水）～3 月 22 日（日）（時間数 131 時間）
※詳細な日程については「兵庫県介護員養成研修事業日程」を参照にしてください。

◆講習内容等

開設する講習内容等については「兵庫県介護員養成研修事業カリキュラム」を参照にしてください。

◆受講人数（定員）及び受講対象者

受講人数（定員）：20 人
受講対象者：介護に従事することを希望する者。

◆申込方法

申込期間中に、ホームページの申込フォームより必要事項を入力し送信もしくはホームページ上の申込書を印刷し必要事項を記入のうえ FAX にてお申込ください。
お申込内容を確認したのち、本学から受講料等お支払いのための書類を送付します。
指定の期日までに受講料等を納入していただき、申込完了とします。
申込完了後、本学より「受講証」を送付します。

◆申込期間

平成 27 年 1 月 5 日（月）～平成 27 年 1 月 28 日（水）まで（必着）

◆申込先

〒675-0195 加古川市平岡町新在家 2301 番地
兵庫大学 エクステンション・カレッジ事務室

◆講習開講人数について

受講者人数が 10 人未満 の場合については、講習は開講いたしませんので、ご了承ください。

◆受講費用

受講費用：68,040 円（税込）テキスト代含む

◆講習会場

兵庫大学（加古川市平岡町新在家 2301 番地）
※大学へのアクセスの詳細は、大学ホームページでご確認ください。
※車で来学される方は、入校時に「受講証」を守衛に提示してください。

◆修了評価について

研修終了後に筆記試験（60分）を行います。

評価基準は、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分とし、C以上で評価基準を満たしたものと認定します。

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満

不合格の者については補講を行い、再度試験を実施します。

◆補講について

研修の一部を欠席（合計12時間未満）した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該研修期間内に補講を受けることで、当該科目に出席したものとみなします。

◆修了証明書について

修了評価試験で合格した者には、修了評価試験ののち一ヶ月前後を目処に修了証明書を送付します。

◆講習受講に関する注意事項

1. 受付について

- (1) 講習当日の開場は8:30から行います。講習開始10分前までにお越しください。
- (2) 当日は、本学から送付する「受講証」を必ずご持参ください。

なお、研修に係る重要事項の説明と本人確認をおこなうため、印鑑と次のうちいずれかをご持参ください。

1. 戸籍謄本
2. 戸籍抄本若しくは住民票
3. 住民基本台帳カード
4. 在留カード等
5. 健康保険証
6. 運転免許証
7. パスポート
8. 年金手帳
9. 運転免許以外の国家資格を有するものについては、その免許証または登録証

2. 遅刻・欠席等について

原則として遅刻・早退・欠席は認めません。公共交通機関の遅れといった理由等により講習開始時間に遅れた場合には、講習開始後15分以内に限り、受講を認めます。講習（1日間6時間）は、途中で早退・欠席された場合でその合計時間が12時間を越える者は評価試験を受験する資格を失いますのでご注意ください。

3. その他

- (1) 学内での喫煙場所は指定されています。指定された場所以外での喫煙はご遠慮ください。
- (2) 貴重品や現金等の紛失に関しまして、本学は一切の責任を負いかねます。各自の責任において管理してください。
- (3) 受講中は携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモード等に設定してください。また、録音・録画及び写真撮影はご遠慮ください。
- (4) 受講日は、**本学の学生食堂は休業日**ですので、各自弁当等をご持参ください。
- (5) 講習中における保険は、受講者各自のご判断により、各自で加入頂きますようお願いいたします。

◆不測の事態が生じた場合の措置

交通機関の事故、自然災害発生等不測の事態が生じた場合は、大学の判断により、開講時間の繰り下げまたは開講を中止することがあります。そのような場合には、開講の有無を大学ホームページでお知らせします。

◆個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報については、兵庫県介護員養成研修の目的以外に使用しません。

◆お問い合わせ

ご不明な点は、兵庫大学 エクステンション・カレッジ事務室までお問い合わせください。

TEL : 079-427-9966

E-mail : kouza@hyogo-dai.ac.jp

◆平成 26 (2014) 年度兵庫県介護員養成研修事業日程表

区分	日付	時間	通信	通学	計	科目番号	講師名
講義・演習	2月4日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(1)-①	①伍賀正
	2月4日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(1)-②	①伍賀正
	2月7日	9:00 ~ 14:00	0	4	4	(2)-①	②小倉毅
	2月7日	14:10 ~ 16:20	0	2	2	(2)-②	②小倉毅
	2月8日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(2)-②	②小倉毅
	2月14日	9:00 ~ 11:10	0	2	2	(3)-①	②小倉毅
	2月14日	11:20 ~ 12:20	0	1	1	(3)-②	②小倉毅
	2月14日	13:00 ~ 15:10	0	2	2	(3)-③	②小倉毅
	2月14日	15:20 ~ 16:20	0	1	1	(3)-④	②小倉毅
	2月15日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(4)-①	③牧田満知子
	2月15日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(4)-②	④加藤洋子
	2月16日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(4)-③	④加藤洋子
	2月16日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(5)-①	⑤原志津
	2月18日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(5)-②	⑤原志津
	2月21日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(6)-①	⑥吉田知一
	2月21日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(6)-②	⑥吉田知一
	2月22日	9:00 ~ 10:00	0	1	1	(7)-①	⑥吉田知一
	2月22日	10:10 ~ 12:20	0	2	2	(7)-②	⑥吉田知一
	2月22日	13:00 ~ 15:10	0	2	2	(7)-③	⑥吉田知一
	2月22日	15:20 ~ 16:20	0	1	1	(7)-④	⑥吉田知一
	2月23日	9:00 ~ 10:00	0	1	1	(8)-①	④加藤洋子
	2月23日	10:10 ~ 11:10	0	1	1	(8)-②	④加藤洋子
	2月23日	11:20 ~ 12:20	0	1	1	(8)-③	④加藤洋子
2月23日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(9)-①	⑦入江良行	
2月25日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-②	⑦入江良行	

講義・演習	区分	日付	時間	通信	通学	計	科目番号	講師名
		2月28日	9:00 ~ 11:10	0	2	2	(9)-②	⑦入江良行
		2月28日	11:20 ~ 16:20	0	4	4	(9)-③	⑦入江良行
		3月1日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-④	⑦入江良行
		3月2日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑥	⑨曾我部成生
		3月4日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-⑤	⑧稲富恭
		3月7日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑦	⑩川端弘子
		3月8日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑧	⑩川端弘子
		3月9日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑨	⑩川端弘子
		3月11日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-⑨	⑩川端弘子
		3月14日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑩	⑩川端弘子
		3月15日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-⑪	⑪小松朗子
		3月15日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(9)-⑫	⑪小松朗子
		3月16日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-⑫	⑪小松朗子
		3月16日	13:00 ~ 16:20	0	3	3	(9)-⑬	⑫金アイ
		3月18日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(9)-⑬	⑫金アイ
		3月21日	9:00 ~ 16:20	0	6	6	(9)-⑭	⑪小松朗子
		3月22日	9:00 ~ 12:20	0	3	3	(10)-①	②小倉毅
		3月22日	13:00 ~ 14:00	0	1	1	(10)-②	⑬田端和彦
	小計			0	130	130		
区分	実習期間			通信	通学	計	実習番号	実習先
実習					0	0		
	小計				0	0		
修了評価 (実施日: 3月22日)					1	1		
合計				0	131	131		

◆平成26（2014）年度兵庫県介護員養成研修事業カリキュラム表

2月					
2/4(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
職務の理解	伍賀正	3	(1)-①	①多様なサービスの理解	・介護保険サービス(居宅、施設)と介護保険外サービスについて理解する。
		3	(1)-②	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。 ・ケアプランから始まるサービスの提供にいたるまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携など、介護サービスの提供についてイメージを持たせる
2/7(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護における尊厳の保持・自立支援	小倉毅	3	(2)-①	①人権と尊厳を支える介護	・介護分野におけるICFの概念。 ・QOLの考え方、ノーマライゼーションの考え方について理解する。
		1	(2)-①	①人権と尊厳を支える介護	・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要について理解する。
		2	(2)-②	②自立に向けた介護	・残存能力の活用、重度化防止、意欲を高める支援、個別性/個別ケアについて考える。
2/8(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護における尊厳の保持・自立支援	小倉毅	3	(2)-②	②自立に向けた介護	・介護予防、健康寿命、介護保険、社会的入院との関係をイメージさせる。
2/14(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護の基本	小倉毅	2	(3)-①	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護の目指す基本的なものは何かを概説し、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解する。 ・異なる専門性を持つ専門職種が連携・協働して介護に関わることを理解する。
		1	(3)-②	②介護職の職業倫理	・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について考える。 ・法令遵守・利用者の個人の尊厳
		2	(3)-③	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護における安全確保の重要性やリスクマネジメントについて考える。緊急対応の重要性を理解するとともに、医療職やサービス提供責任者等と連携することが重要であることを促す。事故発生時の対応など具体的事例を挙げて考える。
		1	(3)-④	④介護職の安全	・介護職に起こりやすい腰痛や感染症などの予防や健康管理について学び、セルフケアができるようになることが大切だということを促す。
2/15(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護福祉サービスの理解と医療との連携	牧田満知子	3	(4)-①	①介護保険制度	・介護保険制度の理念について学び、生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解する。 ・仕組みへの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割など
	加藤洋子	3	(4)-②	②医療との連携とリハビリテーション	・リハビリテーションの理念と目的について学ぶ。 ・訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携について理解する。
2/16(月)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護福祉サービスの理解と医療との連携	加藤洋子	3	(4)-③	③障害者総合支援制度およびその他制度	・障害者総合支援制度の仕組みとその他の制度について基礎的な理解をする。 ・福祉サービスをよく理解し、適切な情報提供を行い、関連する職種との連携が図れるよう促す。
介護におけるコミュニケーション技術	原志津	3	(5)-①	①介護におけるコミュニケーション	・コミュニケーションとはどのようなものか、介護の現場に必要なコミュニケーションについての知識を学び、利用者との実践に活かせる技術を理解する。
2/18(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
介護におけるコミュニケーション技術	原志津	3	(5)-②	②介護におけるチームのコミュニケーション	・チームケアにおける専門職種間でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに記録を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気づきを促す。

2/21(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
老化の理解	吉田知一	3	(6)-①	①老化に伴うところから だの変化と日常	加齢・老化等に伴う生理的な変化や心身の変化・特徴、社会面、身体面、精神面、知的能力などの心身的特徴について説明し、日常生活への影響も理解する。
		3	(6)-②	②高齢者と健康	高齢者に多い病気について具体例を挙げ、その症状や留意点について説明する。介護において生理的側面の知識を身につけることが必要であることを促す。
2/22(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
認知症の理解	吉田知一	1	(7)-①	①認知症を取り巻く状況	認知症の周辺症状はケアのあり方によって変化することを理解し、介護の原則について学ぶ。
		2	(7)-②	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念と原因疾患・病態について理解し、原因疾患別のケアを学ぶ。
		2	(7)-③	③認知症に伴うところから だの変化と日常生活	認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴について学ぶ。 ①認知症の人の心の内②周辺症状(BPSD)にみる認知症の人の思い③原因疾患による症状の違い
		1	(7)-④	④家族への支援	家族の気持ちや家族が受けやすいストレスについて考える。 ・認知症の受容過程での援助・介護負担の軽減
2/23(月)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
障害の理解	加藤洋子	3	(8)-①	①障害の基礎的理解	障害者福祉の基本理念、障害の概念と国際生活機能分類(ICF)について理解する。 各障害の内容・特徴及び障害に応じた社会支援の考え方について学ぶ。
			(8)-②	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識	①身体障害②知的障害③精神障害④その他の心理機能障害について、障害の特性と介護上の留意点を理解する。
			(8)-③	③家族の心理、かかわり支援の理解	介護による肉体的負担以外に家族が陥りやすい心理的傾向やストレスについて理解し、それらの負担を軽減するため、どのような働きが必要かを学ぶ。
心と体の仕組みと生活支援技術(基本知識の学習)	入江良行	3	(9)-①	①介護の基本的な考え方	理論に基づく介護(ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除など)や法的根拠に基づく介護について理解する。
2/25(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(基本知識の学習)	入江良行	3	(9)-②	②介護に関するところのしくみの基礎的理解	学習と記憶に関する基礎知識、感情と意欲に関する基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因などを理解する。
2/28(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(基本知識の学習)	入江良行	2	(9)-②	②介護に関するところのしくみの基礎的理解	学習と記憶に関する基礎知識、感情と意欲に関する基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因などを理解する。
		4	(9)-③	③介護に関するところのしくみの基礎的理解	健康チェックとバイタルサイン、骨・関節・筋肉に関する基礎知識、中枢神経と体性神経・自律神経と内部器官に関する基礎知識を学び、利用者の普段との違いに気づく視点を養う。
3月					
3/1(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(生活支援技術の講義・演習)	入江良行	6	(9)-④	④生活と家事	・家事援助に関する基礎的理解 ・家事援助はなぜ必要か、どのようなスタンスがよいのかなどを学ぶ。
3/2(月)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(生活支援技術の講義・演習)	曾我部成生	6	(9)-⑥	⑥整容に関連したところから からだのしくみと自立に向けた介護	利用者の生活習慣を把握し、心身ともに快適に過ごせるよう支援することを理解し、爪きりや口腔ケアなどの意義、身体状況に合わせた衣服着脱の演習を行う。
3/4(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(生活支援技術の講義・演習)	稲富恭	3	(9)-⑤	⑤快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識を学び、福祉用具に関する留意点、家庭内に多い事故など事例を挙げて学習する。福祉用具の貸与、住宅改修など理解する。
3/7(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術(生活支援技術の講義・演習)	川端弘子	6	(9)-⑦	⑦移動・移乗に関連したところから からだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗のための用具のメリットやデメリットを理解し効果的に使用することを学ぶ。 具体的に移動・移乗に関する介助法を学び、技術的な基礎を習得する。

3/8(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	川端弘子	6	(9)・⑧	⑧食事に関連したところからからだのしくみと自立に向けた介護	食事に関する基礎知識、食事環境の整備、食事に関連した用具と活用方法を理解し、利用者が自分のペースで食事ができる工夫や配慮ができるよう演習を行う。
3/9(月)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	川端弘子	6	(9)・⑨	⑨入浴、清潔保持に関連したところからからだのしくみと自立に向けた介護	利用者が安心して快適に清潔を保持するために、利用者の心身状況に合わせた方法を選び福祉用具を有効に活用できるような介助法を学び、演習する。入浴の際に生じやすいリスクや事故の防止策に関しても理解する。
3/11(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	川端弘子	3	(9)・⑨	⑨入浴、清潔保持に関連したところからからだのしくみと自立に向けた介護	利用者が安心して快適に清潔を保持するために、利用者の心身状況に合わせた方法を選び福祉用具を有効に活用できるような介助法を学び、演習する。入浴の際に生じやすいリスクや事故の防止策に関しても理解する。
3/14(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	川端弘子	6	(9)・⑩	⑩排泄に関連したところからからだのしくみと自立に向けた介護	排泄が行われるまでの体のしくみを理解するとともに排泄の意義も学ぶ。環境を整え、用具を活用することで、できるだけ自力で排泄できるよう援助の方法を演習する。トイレでの排泄の介助、ベッド上での介助も演習する。
3/15(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	小松朗子	3	(9)・⑪	⑪睡眠に関連したところからからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、睡眠用具の活用方法、睡眠障害の種類を理解する。安楽な姿勢や褥瘡予防を理解し利用者が安眠できるよう支援する方法を学ぶ。
		3	(9)・⑫	⑫死にゆく人に関連したところからからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識と心と体のしくみを理解する。終末期の生活を支える介護の提供と状態観察、看護師や医師との連携の重要性を学ぶ。
3/16(月)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術の講義・演習)	小松朗子	3	(9)・⑫	⑫死にゆく人に関連したところからからだのしくみと終末期介護	終末期に関する基礎知識と心と体のしくみを理解する。終末期の生活を支える介護の提供と状態観察、看護師や医師との連携の重要性を学ぶ。
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術演習)	金アイ	3	(9)・⑬	⑬介護過程の基礎的理解	介護過程の構成と連携について理解し、事例をあげて検討する。アセスメント→介護計画→実施→評価の流れで展開する。
3/18(水)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術演習)	金アイ	3	(9)・⑬	⑬介護過程の基礎的理解	介護過程の構成と連携について理解し、事例をあげて検討する。アセスメント→介護計画→実施→評価の流れで展開する。
3/21(土)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
心と体の仕組みと生活支援技術 (生活支援技術演習)	小松朗子	6	(9)・⑭	⑭総合生活支援技術演習	生活の各場面での介護については、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。 ○事例の提示→ところからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題(1事例 1.5 時間程度で上のサイクルを実施する)
3/22(日)					
講座科目名	講師名	時間	科目番号	内容	内容例
振り返り	小倉毅	3	(10)・①	①振り返り	・研修を通して学んだことを振り返り、根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態に応じた介護、身体・心理・社会面を総合的に理解する知識、チームアプローチの重要性)を今後も継続して学ぶことを促す。 ・必要に応じ施設の見学を行う。
振り返り	田端和彦	1	(10)・②	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	今後の介護人材キャリアパスを明確にし、研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできる事例を紹介する。